

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月12日

上場会社名 黒川木徳フィナンシャルホールディングス株式会社

上場取引所 大

コード番号 8737 URL <http://www.kkfg.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間瀬 博行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長兼IR・広報部長兼財務副部長 (氏名) 川中 雅浩

TEL 03-6821-0606

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	941	49.6	928	50.2	46	—	122	—	86	—
21年3月期第1四半期	629	—	618	—	△173	—	△111	—	△112	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2.57	—
21年3月期第1四半期	△3.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	17,981	7,869	35.9	191.34
21年3月期	14,852	7,516	41.5	182.67

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,451百万円 21年3月期 6,159百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社グループは、投資金融サービスを営んでおり、事業の特性上、株式市況・為替相場・商品市況の動向により大きく影響を受ける傾向があります。このため、業績予想を公表することが株主・投資家の皆様の合理的な投資判断の形成に有用とはいえないため、業績予想の開示を控えさせていただきます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	34,397,701株	21年3月期	34,397,701株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	678,939株	21年3月期	678,579株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	33,719,032株	21年3月期第1四半期	33,719,283株

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）における我が国経済は、世界的な金融不安の影響による景気悪化が鮮明となり、世界経済が停滞局面に入らる中で、雇用情勢は急速に悪化しており、また所得の伸び悩みや個人消費の弱い動きなど厳しい状況が続いております。輸出や生産には一部に持ち直しの動きがみられるものの、世界景気の下振れ懸念など景気を下押しするリスクが依然として存在しており、先行きに不透明感を与えております。

このような環境の中、株式市場におきましては、政府の経済危機対策や国内景気の回復の期待等を背景に、日経平均株価は平成21年3月末の8,109円53銭から上昇基調を継続し、6月12日には年初来高値の10,170円82銭となり、およそ8ヶ月ぶりに1万円台に回復いたしました。その後、反落し一時9,500円台まで下落しましたが、平成21年6月末の日経平均株価取引は9,958円44銭で終了いたしました。

このような環境のもと、当社グループでは証券事業を中心とし、お客様1人1人の期待に応え、最良のサービス提供を行うため、営業部門の強化や社内システムの増強などを図ってまいりました。また、前述いたしましたとおり日経平均株価が上昇基調を継続し、投資家の株式投資は再び活発化し出来高が増加していることを受け、業績は順調に推移いたしました。

当第1四半期連結会計期間の当社グループの業績は、以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間については、前述いたしましたとおり株式市場は徐々に持ち直し市場出来高は増加し、東証一日平均売買高は26億53百万株（前年同四半期比21.9%増）、売買代金は1兆7,206億円（前年同四半期比31.8%減）となりました。このような株式市場の回復などにより、当第1四半期連結会計期間の受入手数料は801百万円（前年同四半期比106.6%増）、トレーディング損益につきましては、119百万円（前年同四半期比44.1%減）となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の営業収益は941百万円（前年同四半期比49.6%増）、経常利益は122百万円（前年同四半期は経常損失111百万円）、四半期純利益は86百万円（前年同四半期は四半期純損失112百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は17,981百万円（前連結会計年度末は14,852百万円）となり、3,129百万円増加いたしました。これは信用取引資産が増加したことが主な要因であります。

負債の部は10,112百万円（前連結会計年度末は7,335百万円）となり、2,776百万円増加いたしました。これは信用取引負債が増加したことが主な要因であります。

純資産の部は7,869百万円（前連結会計年度末は7,516百万円）となり、352百万円増加いたしました。これは、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことが主な要因であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、信用取引資産及び負債や預託金の増加、貸付による支出などにより、前連結会計年度末に比べ1,340百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には2,268百万円（前年同四半期末は4,068百万円）となっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,222百万円（前年同四半期は使用資金106百万円）となりました。これは主に預託金の増加による支出674百万円及び信用取引資産及び負債の増加による支出963百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は37百万円（前年同四半期は獲得資金563百万円）となりました。これは主に貸付による支出172百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は80百万円（前年同四半期は使用資金60百万円）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出49百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、投資金融サービス業を営んでおり、事業の特性上、株式市況・為替相場・商品市況の動向により大きく影響を受ける傾向があります。このため、業績予想を公表することが株主・投資家の皆様の合理的な投資判断の形成に有用とはいえないため、業績予想の開示を控えさせていただきます。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	2,391,550	3,735,982
預託金	3,387,483	2,713,483
顧客分別金信託	3,208,000	2,534,000
金融商品取引責任準備預託金	179,483	179,483
トレーディング商品	716,547	—
信用取引資産	5,287,278	2,531,264
信用取引貸付金	4,748,085	2,105,728
信用取引借証券担保金	539,193	425,535
その他の流動資産	1,361,458	1,385,911
貸倒引当金	△25,881	△11,597
流動資産計	13,118,437	10,355,043
固定資産		
有形固定資産	861,252	816,050
無形固定資産	14,461	12,933
投資その他の資産	3,987,812	3,668,246
投資有価証券	3,303,389	3,157,986
その他	1,524,450	1,350,598
貸倒引当金	△718,587	△718,897
投資損失引当金	△121,439	△121,439
固定資産計	4,863,526	4,497,231
資産合計	17,981,964	14,852,275
負債の部		
流動負債		
信用取引負債	4,057,491	2,264,997
信用取引借入金	3,717,486	1,850,821
信用取引貸証券受入金	340,005	414,175
預り金	2,613,977	2,305,830
顧客からの預り金	2,475,501	2,267,977
その他の預り金	138,476	37,852
短期借入金	1,216,200	1,246,200
未払法人税等	10,645	23,590
賞与引当金	33,550	5,670
その他の流動負債	1,506,878	708,540
流動負債計	9,438,742	6,554,828
固定負債		
長期借入金	151,400	201,200
退職給付引当金	317,074	359,017
役員退職慰労引当金	56,110	49,180
その他の固定負債	118,445	145,941
固定負債計	643,030	755,338
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	30,835	25,584

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
特別法上の準備金計	30,835	25,584
負債合計	10,112,608	7,335,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,414,500	2,414,500
資本剰余金	2,294,501	3,753,629
利益剰余金	1,831,866	286,171
自己株式	△101,930	△101,904
株主資本合計	6,438,937	6,352,397
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,838	△192,912
評価・換算差額等合計	12,838	△192,912
少数株主持分	1,417,579	1,357,038
純資産合計	7,869,356	7,516,523
負債・純資産合計	17,981,964	14,852,275

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業収益		
受入手数料	387,715	801,047
トレーディング損益	213,474	119,291
金融収益	26,210	21,286
その他	2,163	—
営業収益計	629,563	941,625
金融費用	11,393	13,262
純営業収益	618,170	928,363
販売費・一般管理費	792,124	881,884
取引関係費	17,646	28,990
人件費	426,534	461,274
不動産関係費	70,708	70,068
事務費	56,957	89,136
減価償却費	10,850	12,548
租税公課	14,780	16,583
貸倒引当金繰入れ	23,202	13,973
その他	171,444	189,307
営業利益又は営業損失(△)	△173,954	46,479
営業外収益	66,719	81,675
負ののれん償却額	26,746	26,803
その他	39,972	54,872
営業外費用	4,378	5,346
支払利息	3,815	5,315
その他	563	31
経常利益又は経常損失(△)	△111,614	122,808
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,433
貸倒引当金戻入額	266	—
退職給付引当金戻入額	—	23,217
金融商品取引責任準備金戻入	153,899	—
特別利益	154,165	29,650
特別損失		
減損損失	34,768	—
投資有価証券評価損	15,954	—
投資損失引当金繰入額	115,362	—
金融商品取引責任準備金繰入れ	—	5,250
その他	6,934	6
特別損失	173,020	5,257
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△130,469	147,201
法人税、住民税及び事業税	2,600	3,637
法人税等調整額	11,352	—
法人税等合計	13,953	3,637
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△31,598	56,997
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△112,824	86,566

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△130,469	147,201
減価償却費	10,850	12,548
減損損失	34,768	—
のれん償却額	936	—
負ののれん償却額	△26,746	△26,803
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22,936	13,973
投資損失引当金の増減額(△は減少)	115,362	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,928	27,880
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,778	△41,942
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,450	6,930
売買目的有価証券の増減額(△は増加)	508,737	—
受取利息及び受取配当金	△11,317	△34,872
支払利息	3,815	5,445
持分法による投資損益(△は益)	△13,337	△16,282
投資有価証券売却損益(△は益)	—	6,433
投資有価証券評価損益(△は益)	15,954	—
固定資産除却損	—	6
預託金の増減額(△は増加)	△276,600	△674,000
トレーディング商品の増減額	—	△24,126
差入保証金の増減額(△は増加)	567,361	47,423
信用取引資産及び信用取引負債の増減額	△384,584	△963,521
立替金及び預り金の増減額	281,026	307,993
受入保証金の増減額(△は減少)	△130,168	133,773
借入有価証券の増減額(△は減少)	△354,620	—
信用取引未払金の増減額(△は減少)	△321,992	—
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△153,899	5,250
その他	153,508	△191,056
小計	△125,636	△1,257,745
利息及び配当金の受取額	29,074	46,195
利息の支払額	△1,173	△1,776
法人税等の支払額	△9,074	△9,147
営業活動によるキャッシュ・フロー	△106,809	△1,222,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,102	△57,342
投資有価証券の売却による収入	—	92,992
貸付けによる支出	△27,500	△172,216
貸付金の回収による収入	600,587	103,742
その他	△3,090	△4,218
投資活動によるキャッシュ・フロー	563,894	△37,043

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△59,800	△30,000
長期借入金の返済による支出	—	△49,800
リース債務の返済による支出	—	△1,122
自己株式の取得による支出	△43	△25
配当金の支払額	△551	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,394	△80,948
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	396,689	△1,340,466
現金及び現金同等物の期首残高	3,671,749	3,608,775
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,068,438	2,268,308

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

①資本準備金及び利益準備金の額の減少

平成21年6月25日開催の定時株主総会決議に基づき、平成21年6月26日付で資本準備金を1,459,128,545円減少し、その他資本剰余金を同額増加いたしました。また、利益準備金を161,875,000円減少し、繰越利益剰余金を同額増加いたしました。

②剰余金の処分

平成21年6月25日開催の定時株主総会決議に基づき、上記の資本準備金及び利益準備金の額の減少の後、その他資本剰余金1,459,128,545円及び別途積立金4,450,000,000円を減少し、繰越利益剰余金を5,909,128,545円増加いたしました。